

いつもより短い夏休みが終わり、まだまだ残暑が続きます。まずは、生活リズムを整え、水分補給、手洗いうがいなど体調管理を心がけて下さい。今回は、「新制度入試の情報」と、先輩たちの合格体験記から「奇跡を起こす三つの方法①」、そして、進路指導室前に掲示している今月の「いいかも、地方公立大学」の紹介です。

【新制度入試、どこが変わる？】

新制度入試では、入試区分などが右記のように変わります。入試区分については名称だけでなく、どの入試区分でも、学力の三要素①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等③主体的に学習に取り組む態度等がより重視されるようになります。その意味で、一般選抜でも調査書を重視したり、総合型、学校推薦型でも学科試験を取り入れたりする大学もあるでしょう。区分ごとの入試の時期については総合型の出願日が9月1日以降(現行は8月1日から)になるなど、若干の変更はありますが、ほぼ、例年通りのスケジュールとなります。

	これまで	2021年入試
入試区分	AO入試 →	総合型選抜
	推薦入試 →	学校推薦型選抜
	一般入試 →	一般選抜
共通試験	大学入試センター試験 →	大学入学共通テスト

【大学入試センター試験と共通テストの違い】

昨今のAI技術の進展、グローバル化など社会構造の急激な変化に対応できる力・資質を身につけるために「教育改革」が進められており、その一つとして「共通テスト」の実施が決まりました。ただ、改革の二本柱であった英語民間試験の導入と記述式問題導入については様々な問題が生じることが懸念され、その導入は見送られることとなりました。とはいえ、下記のとおり、共通テストでは、「思考力」「判断力」「表現力」を問う問題、あるいは、「日常生活・社会生活から課題を発見し解決方法を探る」「資料やデータ等を基に考察する」など、学習の過程を意識した問題が重視されます。センター試験とは出題の方法や問い方が変わるの間違いありませんので、十分な対策が必要です。ただ、センター試験で問われてきた知識はもちろん問われますので、1、2年の皆さんは授業中心の学習をしっかりと積み重ねて下さい、また、3年生も教科書に載っている基礎知識の復習を継続しながら、演習に取り組みましょう。

【センター試験と大学入学共通テスト(2021年度入試)の比較】

	センター試験	大学入学共通テスト(2021年度入試)
日程	1月13日以降の土日2日間	センター試験と同じ ※2021年1月16・17日(第1日程) 2021年1月30・31日(第2日程) 2021年2月13・14日(特例追試験)
出題形式	全てマーク式	センター試験と同じ
試験科目	6教科30科目	センター試験と同じ
試験時間(数ⅠA以外)	国80分、数・地歴・公民・理各60分、英(リーディング80分、リスニング30分)	センター試験と同じ
試験時間(数ⅠA)	数学ⅠA 60分	数学ⅠA 70分
英語の出題内容	文法+リーディング・リスニング (配点 文法・読解8 : リスニング2)	リーディング・リスニング (配点 1:1) ただし、大学毎に比率を決定。
問われる力	「知識」「技能」	「知識」「技能」 +「思考力」「判断力」「表現力」



※2021年入試では、新型コロナウイルス感染症対策と、休校措置による「学業の遅れ」への配慮を検討し、第2日程(第1日程の追試験。現役生の「学業の遅れ」を理由とした受験。…学校長の認可が必要、出願時に選択)・特例追試験(第2日程の追試験。)を設定した。

【奇跡を起こす三つの方法①…受験は団体戦】

1~2年の成績はパツとしなかったのに、模試の成績ではいつもC~D判定と振るわないのに、その後飛躍的に力が伸び、志望する大学に見事合格するという奇跡？を起こした先輩たちがいます。彼らのように自分の力を最大限に伸ばす方法は三つあります。

それは

- ① 受験は団体戦→友達と切磋琢磨する、クラスの雰囲気を受験モードに
- ② 楽な道より苦しい道を選ぶⅠ→勉強・苦手科目から逃げない、教科を絞らない
- ③ 楽な道より苦しい道を選ぶⅡ→最後まで粘る

今回は、皆さんも一度は耳にしたことのある「①受験は団体戦」という言葉の意味について、先輩の合格体験記を読んで、考えてみたいと思います。

最後に、「**受験は団体戦であること**」です。初めてこの言葉を聞いたときはあまりピンときませんでした。受験勉強を進めていくほどこの言葉の意味が理解できました。私は、一人で家にこもり勉強することがあまり得意ではなく、誘惑に負けて勉強に手がつかなくなることが多々ありました。その時助けになったのが、ともに勉強する友達の存在でした。友達と、時に競い合い、時に助け合いながら勉強したり、合間に進路や将来について話し合ったりすると、勉強がただ辛いものとは思わなくなります。私のように、一人だと勉強しにくい人は、友達とともに図書館などで勉強するのも一つの手だと思います。



県立広島大学 生命環境学部 69 回生 Y. F.



受験勉強を始めると、まさに**受験は団体戦**だということを実感できます。あまり言いたくはありませんが、勉強する気のない人といっても伸びません。高め合える仲間と勉強してください。僕も友達にはたくさん助けられました。友達と話すことは何よりもリフレッシュできるからです。

関西大学文学部総合人文学科 70 回生 R. C.

3つ目は周囲の支えの大切さです。「**受験は団体戦**だ」と先生方がいつも言っていたことが何のことかははじめは分からなかったけれど、受験を通して理解することができました。日々継続して勉強することのしんどさや不安や焦りも、みんなも一緒なんだと思うと頑張ろうと思えました。悩みをいつも聞いてくれた友達や先生、家族には本当に感謝しています。

神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科 70 回生 S. H.

やる気のある友人との競い合い、励まし合いが重要だという点では3人とも共通しています。それを数人の集まりでとどめるのではなく、クラス全体に波及させて、互いに高め合う雰囲気を作っていきたいものですね。仮に自分は早く合格が決まったとしても、クラス全員が決まるまでは受験に前向きに取り組む雰囲気を崩さないことで、まだ決まっていない友人を応援し支えていく。「**受験は団体戦**」とは、最後の1人の進路が決まるまで、受験モードを崩さず、共に戦えるクラスを作ることができれば、個々の力を最大限に伸ばすことができるという意味です。

いいかも

鳥根県立大学→9月前半掲示

浜田キャンパス(国際関係学部・地域政策学部)、出雲キャンパス(看護栄養学部)、松江キャンパス(人間文化学部・短期学部)の3つのキャンパスからなる大学です。→進路指導室前に掲示しています。浜田キャンパスの総合政策学部が来春から国際関係学部・地域政策学部へ改組されることとなりました。もともと、アジアとの国際交流、地域でのフィールドワークなど特徴的な取り組みがなされていたので、改組により、さらに魅力的なキャンパスになることでしょう。



北九州市立大学→9月後半掲示

外国語学部、経済学部、文学部、法学部、地域創生学群からなる「北方キャンパス」と、国際環境理工学部がある「ひびきのキャンパス」の2つのキャンパスで構成されています。過去には、推薦入試(新制度入試では「学校推薦型選抜」)で、文学部比較文化学科、外国語学部英文学科、法学部などに入学した先輩たちもいます。最近では、71回生の理系の先輩が国際環境工学部情報システム工学科に推薦で合格しています。

地方公立大学…先輩が進学した公立大学の紹介